

## 学部履修単位表

【平成28年度以降入学者用】

区分・科目		教育科学科			履修単位数			備考	
		系	現代教育基礎学	教育心理学	関連教育システム論	小計	中計		大計
専 門 科 目	所属系の専門科目	講義 4 演習 12 実習	12 4 12 ※講読演習4単位 (必修)を含む	12 4 12 ※実習4単位 (必修)を含む	12 4 12 ※社会調査・講読演習の中 から4単位を履修すること	28	68	84	履修科目の選択は、必ずオリエンテーションを受けてから行うこと。  所属系の専門科目の中から所定の単位を履修すること。  他系の専門科目の中から所定の単位を履修すること。  専門科目の授業形式、提供学部・部局等の別を問わない。大学院科目、教職科目を含む。
	他系科目	講義 演習 実習	12						
	選択科目	講義 演習 実習	28 ※他学部科目は16単位以内			28			
	卒業論文		16						
全 学 共 通 科 目	I 人文・社会科学	Ⅲ(外国語)で英語を選択した場合 : 18以上 ※外国文献研究分野の教育学部提供科目 「外国文献研究(教育・英)Ⅰ・Ⅱ」各2を含む Ⅲ(外国語)で英語を選択しなかった場合 : 14以上			48 (40)	72	◆Ⅰ・Ⅱの最低必要単位数を満たしたうえで、Ⅰ・Ⅱ・Ⅳ～Ⅷの科目群から、次のとおり履修すること。 ・英語を選択した場合、「外国文献研究(教育・英)Ⅰ・Ⅱ」各2単位及びE科目4単位以上を含む48単位以上 ・英語を選択しなかった場合、40単位以上		
	II 自然科学	6以上							
	IV 情報学								
	V 健康・スポーツ								
	VI キャリア形成								
	VII 統合科学								
	VIII 少人数教育								
III 外国語	第1外国語 英語 : 8	英語以外 : 16	第2外国語 : 16	リーディング 4 ライティング・リスニングA・B 各2	24 (32)	◆英語、ドイツ語又はフランス語のいずれか1か国語を含めて2か国語 ◆英語以外の外国語は初級から8単位、中級・上級から8単位を履修すること。			
総計		156			授業科目+卒業論文				

※中計の( )内は、Ⅲ外国語科目群で英語を選択しなかった場合の必要単位数

◎これらは卒業に必要な最低限度の単位数であり、これ以上の履修を妨げるものではない。

なお、授業科目の履修にあたっては、4月初めのオリエンテーションを受けた後、便覧綴じ込みの履修届により手続きをすること。

備考1: 1回生配当科目「教育研究入門」は、1回生時に修得すべき必修専門科目である。

(ただし、本学部3回生への転入学者及び第3年次編入学者は、この限りでない。)

1回生時に未修得の者は、2回生時に修得すること。卒業要件の単位としては選択科目に数える。

2: 卒業論文を除く3系共通科目は、選択科目に数える。

3: 第3年次編入学者は専門科目を履修すればよい。

4: 全学共通科目については、「全学共通科目履修の手引き」を参照すること。

5: 全学共通科目の履修登録単位数の上限は34単位。(通年科目は1/2単位を算入)ただし、集中講義は除く。

6: 2回生配当科目「外国文献研究(教育・英)」は、Ⅰ・Ⅱを1科目ずつ履修すること(4単位のみ認定)。

7: Ⅲ外国語科目群のスペイン語Ⅰ(会話)は、卒業に必要な単位として認定しない。

8: Ⅲ外国語科目群の日本語は外国人留学生のみ選択することができる。その場合、英語を除く1か国語16単位のうちの8単位として読み替えることができる。

9: 大学コンソーシアム京都との単位互換科目は、卒業に必要な単位として認定しない。

10: Ⅳ情報学科目群については、履修することが望ましい。

11: 教育職員免許状を取得しようとする者は、「教育職員免許状の取得について」を参照すること。

## 学部履修単位表

【平成25年度～平成27年度入学者用】

系 区分・科目		教育科学科			履修単位数			備考
		現代教育基礎学	教育心理学	関連教育システム論	小計	中計	大計	
専 門 科 目	所属系の専門科目	講義 12 専門ゼミナール 4 演習 12 実習 } ※講読演習4単位(必修)を含む	12 4 12 } ※実習4単位(必修)を含む	12 4 12 } ※社会調査・講読演習の中から4単位を履修すること	28	68	84	履修科目の選択は、必ずオリエンテーションを受けてから行うこと。  所属系の専門科目の中から所定の単位を履修すること。  他系の専門科目の中から所定の単位を履修すること。  専門科目の授業形式、提供学部・部局等の別を問わない。 大学院科目、教職科目を含む。
	他系科目	講義 演習 実習	12		12			
	選択科目	講義 演習 実習	28 ※他学部科目は16単位以内		28			
	卒業論文		16					
全 学 共 通 科 目	人文・社会科学系科目群		14		40	56	人文・社会科学系科目群、自然・応用科学系科目群の最低必要単位数を満たしたうえで、人文・社会科学系科目群、自然・応用科学系科目群、現代社会適応科目群、拡大科目群(ただし、単位互換等科目を除く)から自由に20単位選択して合計40単位履修すること。	
	自然・応用科学系科目群		6					
	現代社会適応科目群							
	拡大科目群							
	外国語科目群	第1外国語 8 第2外国語 8 ※英語、ドイツ語又はフランス語のいずれか1か国語を含めて2か国語 ※英語を履修する場合、8単位のうち2単位は「英語(教育科学)」を必ず含むこと。英語以外の外国語は初級から4単位、中級・上級から4単位を履修すること。			16			
総計		140				授業科目+卒業論文		

◎これらは卒業に必要な最低限度の単位数であり、これ以上の履修を妨げるものではない。

なお、授業科目の履修にあたっては、4月初めのオリエンテーションを受けた後、便覧綴じ込みの履修届により手続きをすること。

備考1: 1回生配当科目「教育研究入門」は、1回生時に修得すべき必修専門科目である。

(ただし、本学部3回生への転入学者及び第3年次編入学者は、この限りでない。)

1回生時に未修得の者は、2回生時に修得すること。卒業要件の単位としては選択科目に数える。

2: 卒業論文を除く3系共通科目は、選択科目に数える。

3: 第3年次編入学者は専門科目を履修すればよい。

4: 全学共通科目については、「全学共通科目履修の手引き」を参照すること。

5: 全学共通科目の履修登録単位数の上限は30単位。(通年科目は1/2単位を算入)ただし、集中講義は除く。

6: 2回生配当科目「英語(教育科学)」は、前後期1科目ずつ履修すること(2単位のみ認定)。

7: 外国語科目群の工学部国際コース向け科目及びスペイン語I(会話)は、卒業に必要な単位として認定しない。

8: 現代社会適応科目のうち情報系科目については、履修することが望ましい。

9: 教育職員免許状を取得しようとする者は、「教育職員免許状の取得について」を参照すること。

## 学部履修単位表

【平成24年度以前入学者用】

		教 育 科 学 科			履修単位数			備 考
		系 区分・科目	現代教育基礎学	教育心理学	関連教育システム論	小 計	中 計	大 計
専 門 科 目	所属系の 専門科目	講 義 12 専門ゼミナール 4 演 習 12 実 習 }	12 4 12 }	12 4 12 }	12 4 12 }	28	68 84	所属系の専門科目の中から 所定の単位を履修する こと。
	他系科目	講 義 演 習 実 習	12			12		他系の専門科目の中から 所定の単位を履修する こと。
	選択科目	講 義 演 習 実 習	28 ※他学部科目は16単位以内			28		専門科目の授業形式、提 供学部・部局等の別を問 わない。 大学院科目、教職科目を 含む。
	卒業論文		16					
教 養 科 目 (全 学 共 通 科 目)	A 群： 人文科学 社会科学		16			36	56	A・B 群の必要単位を満 たしたうえで A・B 群 から自由に12単位選 択して合計36単位履 修すること。
	B 群： 自然科学		8					
	C 群： 外国語	第1外国語 第2外国語 ※英語、ドイツ語又はフランス語のいずれか1か国語を含めて2か国語 ※英語を履修する場合、8単位のうち2単位は「英語（教育科学）」を必 ず含むこと。英語以外の外国語は初級から4単位、中級・上級から4 単位を履修すること。	8 8			16		
	D 群： 保健体育	講義 実習	4				A・B・D 群から自由 に4単位履修すること	
総 計			140					授業科目＋卒業論文

◎これらは卒業に必要な最低限度の単位数であり、これ以上の履修を妨げるものではない。

なお、授業科目の履修にあたっては、4月初めのオリエンテーションを受けた後、便覧綴じ込みの履修届により手続きをすること。

備考1：1回生配当科目「教育研究入門」は、1回生時に修得すべき必修専門科目である。

(ただし、本学部3回生への転入学者及び第3年次編入学者は、この限りでない。)

1回生時に未修得の者は、2回生時に修得すること。卒業要件の単位としては選択科目に数える。

2：卒業論文を除く3系共通科目は、選択科目に数える。

3：第3年次編入学者は専門科目を履修すればよい。

4：全学共通科目については、「全学共通科目履修の手引き」を参照すること。

5：2回生配当科目「英語（教育科学）」は、前後期1科目ずつ履修すること（2単位のみ認定）。

6：C群の工学部国際コース向け科目及びスペイン語I（会話）は、卒業に必要な単位として認定しない。

7：教育職員免許状を取得しようとする者は、「教育職員免許状の取得について」を参照すること。